

鹿児島市建築文化賞

かねこクリニック受賞

do-ing Up Stepも

鹿児島市は11日、第7回鹿児島市建築文化賞の受賞建築物を発表し、同市上荒田町のかねこクリニックと下福元町のdo-ing Up Stepが選ばれた。授賞式は11月6日に鹿児島サンロイヤルホテルで行われる。同賞は、美しいまち並みと豊かな都市環境を高め、まちに潤いと魅力を与える優秀建築物を表彰することにより、建築文化の向上と都市景観に対する市民の関心と理解を深めるのがねらいで、6月10日から7月15日まで募集期間に応募があった55件から選定した。用途別内訳は病院・診療所・老人保健施設16件、事務所13件、店舗・飲食店・遊技場10件、共同住宅・店舗付共同住宅8件、学校1件、その他7件。審査委員を務めたのは、大谷幸夫東京大学名誉教授、船越徹東京電機大学教授、大高禮造鹿児島大学教授、高橋誠造鹿児島大学教授、安山宣之同大教授、木村耕一鹿児島市助役、園田太計夫同建設局長ら9人で、建築物単体としての機能やデザイン、周辺の都市景観との調和、まち並みとしてのデザインの配慮、地域社会への景観上の貢献に寄与していることなどを審査要件に、8月26日の第1次審査で全ての作品を審査、27日に現地審査を行い、28日の2次審査で2件を選定した。

11月6日に授賞式



受賞作品について説明する野間孫一郎 建築部長(左)=鹿児島市役所で

なお、11月6日に鹿児島サンロイヤルホテルで授賞式が行われ、所有者と設計者及び施工者に賞状やトロフィー等が授与される。

設計 街アトリエ環境

施工 柳志多組

所在地は上荒田町8-1。市街地に建つ4階建ての同クリニックは、敷地中央に4層を貫く筒状の光庭を設定し、その周囲に必要諸室を配置するなど分り易い構成手法でまとめられている。中庭または光庭を内包すること、建築空間の要件としての光と空気を外界の変動に左右されることなく、また過度に外界の影響を与えないこと、確保できること、市街地の中に安定した豊かな生活空間を保障できること、この建築はデザインの

設計 中央建設株式会社

施工 中央建設株式会社

高いレベルで証明している。各階に配列された諸室からは、光庭を介して行き交う人々の動きを垣間見ることができ、建築の内部にあって建築の総体を感じ取ることができるとは特筆されることである。また、光庭に見る緑の配置も巧みで、診療を受ける人々にも心地よい安らぎの空間を提供している。

下福元町の国道225号通りに沿って建設された同施設は、郊外の十分には市街地として整っていない場所にも関わらず、鉄骨や木・鋼板などの素材を巧みに組み合わせ、建物全体を軽快に簡潔にまとめあげ、そこに見る

その一つである人と車をいかに導くかの課題を、車を敷地の奥に集めて前面道路沿りのスペースを可能な限り歩行者のために確保している。また、人々をスムーズに2階の店舗へ迎えるべく、前面道路に向けて木床のデッキをさしかけ、木製のルーバーによるさりげない囲い込みとオープン階段によって2階への前室を演出し客を誘導している。

この建物は規模は決して大きくないが、市街地を構成する基本的要素・活動としての店舗が抱えている現代の諸課題に対して、的確に答えながら、さらにデザインの力量とセンスによってまち並みを活気づけ、現状からの飛躍を誘発し示唆していることが高く評価された。



かねこクリニック

▽所有者＝医療法人 あさひ会
▽構造＝RC造・S造4階建て



do-ing Up Step

▽所有者＝(株)センテ
▽構造＝S造2階建て

県内建築系高校生設計コンペ

金賞に門原さん(鹿屋工3年)

県建築士会主催による県内建築系高校生を対象にした14年度建築設計コンペの審査会が10日、鹿児島市の県住宅公社ビルで行われ、金賞に門原卓也さん(鹿屋工業3年)が選ばれた。また、学校賞は薩南工業に決まった。今年で38回目のコンペの課題は「住宅地に建つ」。

県建築士会主催による県内建築系高校生を対象にした14年度建築設計コンペの審査会が10日、鹿児島市の県住宅公社ビルで行われ、金賞に門原卓也さん(鹿屋工業3年)が選ばれた。また、学校賞は薩南工業に決まった。今年で38回目のコンペの課題は「住宅地に建つ」。

専任住宅。審査には友清賞和委員長(鹿児島大学工学部教授)ら10人があたり、慎重に審査した。入賞者の表彰式は20日、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で行われる。入賞者は次の通り。

金賞 門原卓也(鹿屋工業3年)
賞賛賞(加治木工3年)
賞賛賞(加治木工3年)
賞賛賞(加治木工3年)
賞賛賞(加治木工3年)
賞賛賞(加治木工3年)
賞賛賞(加治木工3年)
賞賛賞(加治木工3年)
賞賛賞(加治木工3年)
賞賛賞(加治木工3年)

県、全羅北道との建築文化等交流 16日から6日間

県は16日から21日までの6日間の日程で、大韓民国から来鹿し「14年度全羅北道との建築文化と技術」の交流を予定している。交流は県内の建築現場や特色ある施設・まちづくりの事例などの建築施設等視察及び現場研修のほか、建築士等建築技術者及び建築行政実務者による情報・意見交換などで建築文化と技術の交流会議を実施する。また、かこしま住まいと建築展への参加などを予定している。

賃金圧迫等訴える

全国建産連

全国建設産業団体連合会(全国建産連、田村憲司会長)は11日、ダンピング対策や14年度補正予算の早期成立など、先月末の全国府県会長会議で決議した項目を、青山俊樹事務次官ら国土交通省幹部や国会議員に要望した。

青山事務次官に要望書を手渡す際に田村会長は、各建設業団体の会員数が倒産や脱退などにより減り続けている現状に触れ「2年後には解散せざるを得なくなる団体も出てくる」と危機感を募らせ、競争性向上などを目的に、多くの業者が参加可能なことを要望した。

これを受け青山事務次官は、ダンピングの実情を分かっている企業が自ら対策を検討することを要請し、最低制限価格制度の徹底を求めた。

一方、国会議員らに対する要望では、ダンピング防止と車の両輪として、談合の防止策を進めても、ダンピング排除に手を付けていない地方公共団体が多いと指摘。低入札価格調査委員会の機能発揮と独占禁止法の不当販売条項の適用といった施策の推進を求めた。

調査要領未定定の11自治体に対する指導徹底を求めた。また、調査・設計、コンサルタント業務への低入札価格調査制度の導入も併せて求めた。

調査要領未定定の11自治体に対する指導徹底を求めた。また、調査・設計、コンサルタント業務への低入札価格調査制度の導入も併せて求めた。

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

ISO 9001 ISO 14001
南九州200社の実績と豊富なノウハウ。当社審査員による模擬審査の実施。私どもは御社の社員になりきり、ISO認証の取得・運用を果たします。
株式会社 アシップ
http://www.aship.co.jp
〒892-0821 鹿児島市名山町9番15号ソフトプラザかこしま406
お問い合わせは TEL 099-805-0909 FAX 099-805-0911